

第1回総務文教常任委員会会議録

- 1 開会日時 令和2年1月17日（金）午前10時0分
- 2 閉会日時 令和2年1月17日（金）午前11時12分
- 3 会議場所 議会委員会室
- 4 出席委員
1 番 永徳 省二君 3 番 佐藤 武君 7 番 大口 浩志君
1 2 番 北川 勝義君 1 6 番 下山 哲司君 1 7 番 実盛 祥五君
- 5 欠席委員
な し
- 6 説明のために出席した者
市 長 友實 武則君 副 市 長 前田 正之君
副 市 長 川島 明昌君 教 育 長 内田 恵子君
総合政策部長 安田 良一君 総 務 部 長 兼 監 査 事 務 局 長 塩見 誠君
財 務 部 長 兼 会 計 管 理 者 藤原 義昭君 教 育 次 長 末本 勝則君
赤坂支所長兼 土井 常男君 熊山支所長兼 矢部 恭英君
市民生活課長 是松 誠君 市民生活課長
吉井支所長兼 消防本部 井元 官史君
市民生活課長 小引 千賀君 消防本部消防長
秘書広報課長 小坂 憲広君 政策推進課長 花谷 晋一君
総 務 課 長 和田美紀子君 くらし安全課長 岡本 和典君
財 政 課 長 遠藤 健一君 管 財 課 長 戸川 邦彦君
税 務 課 長 家森 康彰君 教育総務課長 金島 正樹君
学校教育課長兼 中央学校給食センター所長 土井 道夫君
消防本部 榎原 秀幸君 社会教育課長兼 スポーツ振興課長
消防総務課長
- 7 事務局職員出席者
議会事務局長 元宗 昭二君 主 事 松尾 康平君
- 8 協議事項 1) 事業の進捗状況について
2) その他
- 9 議事内容 別紙のとおり

午前10時0分 開会

○委員長（北川勝義君） ただいまから第1回の総務文教常任委員会を開催いたします。

初めに、友實市長の御挨拶をお願いしたいと思います。

○市長（友實武則君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 友實市長。

○市長（友實武則君） 皆さん、おはようございます。

令和2年、年が明けまして第1回の総務文教常任委員会ということでお開きいただきまして、まことにありがとうございます。

挨拶に先立ってお礼を申し上げます。先日、赤磐市の成人式を挙行させていただきました。総務文教常任委員会の委員全員の出席を賜りました。お忙しい中、また寒い中、おいでいただきましてありがとうございます。心よりお礼を申し上げます。

本日の委員会でございますけども、協議をいただく事項ですが、令和元年度も差し迫って、あと数カ月となりました。今の事業の進捗状況を委員の皆様にご協議いただき、そしてこれが年度の終わりをもっていい形で終わるようということに協議をさせていただきます。そのほか、さまざまな事業についての案件も協議をさせていただきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

以上でございます。

○委員長（北川勝義君） ありがとうございます。

それでは、これから協議事項に入りたいと思います。

1番目は事業の進捗状況について、執行部から説明願いたいと思います。

皆様にお諮りしますが、案件も少ないようなので、総合政策部から消防まで、順次説明いただいて、それから一括して質問を受けたいと思います。そのようにさせていただいてよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（北川勝義君） それでは、そのようにさせていただきます。

それでは、先ほど申しましたように、総合政策部から事業進捗の説明を願いたいと思います。

○秘書広報課長（小引千賀君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 小引課長。

○秘書広報課長（小引千賀君） それでは、あかいわ広報大使について御説明いたします。

総合政策部資料の1ページをごらんください。

あかいわ広報大使は、赤磐市の知名度向上、魅力発信を目的として平成28年度に誕生いたしました。活動内容としては、大使御本人や所属事務所のSNSなどでの市のイベント、特産品などのPRや市が準備する名刺を活用した宣伝のほか、県外を含め市が関連するイベントへの

出演をお願いしています。

3の一覧でございますように、現在、4人と1組の皆さんにあかいわ広報大使として活動していただいております。一覧の上から2番目の升毅様は、現在2年目ですが、ほかの広報大使は全て平成28年12月26日からの委嘱で、4年目に入っております。一覧表の下、欄外の米印にございますように、俳優の辻伊吹様については、活動の拠点を香港、台湾などの海外に置くということで、委嘱期間満了をもちまして終了としております。

あかいわ広報大使のこれまでの主な活動内容は、表にございますとおりでありますが、最近では年末に委員の皆様にご案内を差し上げましたとおり、俳優の津田寛治様がぐらし安全課が市内中学校で実施したスマートフォンの適正利用を呼びかける寸劇に出演され、あわせて早朝からのラジオ出演や市内スーパー入り口での防犯、交通安全のチラシ配布に参加するなど、終日熱心に活動していただいております。これからも、さまざまな機会を捉えて、赤磐市の認知度向上、市の特産品のPRなどに御協力いただいております。

秘書広報課からは以上です。

○政策推進課長（花谷晋一君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 花谷課長。

○政策推進課長（花谷晋一君） それでは、総合政策部資料2ページをごらんください。

政策推進課からは、(2)第2期赤磐市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定につきまして御報告を申し上げます。

1、策定の背景につきましては、上から3段落目をごらんください。国における第1期創生総合戦略は、令和元年度で期間が終了するため、令和2年度から5年間の第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略が令和元年12月に策定されたところでございます。赤磐市の創生総合戦略につきましても、この5年間で取り組んできた施策の検証を行いながら、継続を力にという姿勢で事業に取り組むとともに、その事業に充てる有利な財源を確保するため、第2期赤磐市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定するものです。

2、基本的な考え方にございますように、目標を子育てするならあかいわ市として、令和2年度から6年度までの戦略の策定作業を行っております。

3、今後のスケジュールでございますが、この戦略は国からの補助金をいただく都合上、令和2年3月末までに策定する必要がございます。現在の策定状況につきましては、スケジュールの(2)にございますように、1月15日に第2回目の有識者会議を開催いただきまして、その会議でいただいた御意見の戦略への反映作業を現在行っているところでございます。そのまとめたものに対しましては、(3)にございますようにパブリックコメントを実施させていただく予定としておりまして、(4)3月下旬には3回目の有識者会議を開催いただく予定としておりまして、パブリックコメントの結果について御審議をいただく予定としております。

資料をめくっていただきまして、3ページには、国の創生総合戦略の概要版を添付させてい

いただきました。後ほどごらんいただければと思っております。

4ページには、12月に開催されました市議会定例会で議決をいただきました総合計画と、現在策定をしております創生総合戦略の関係性を図式化したものを添付させていただいております。

ページ右側上部に、創生総合戦略と大きく書いている吹き出しの中をごらんいただきます。昨年12月に議決をいただきました最上位計画である総合計画の方針の中で、特に地域経済の活性化や人口減少問題に対応し、持続可能な発展に向けて取り組むべき内容を重点化した内容を示したものとして創生総合戦略を策定いたします。ページの右下にありますように、創生総合戦略に記載した内容について、個別の事業計画を立てたものが地域再生計画となります。その地域再生計画が国に承認されると、その事業に補助金が交付されるようになります。

資料をめくっていただきまして、5ページには、参考としまして創生有識者会議の委員名簿を添付させていただいております。後ほどごらんください。今後、委員会の日程にもよりますが、2月の委員会で素案をお配りできるよう準備を進めてまいりたいと考えております。

政策推進課からは以上です。

以上で総合政策部の説明を終わります。

○管財課長（戸川邦彦君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 戸川課長。

○管財課長（戸川邦彦君） 管財課より庁舎の整備について御報告いたします。

財務部資料をごらんください。さきの委員会でお示しした資料をつけさせていただいております。

この先、今月30日に開催を予定しております議会全員協議会で、9月の委員会で説明させていただきました内容の説明をさせていただきたいと考えております。当日までにお目通しいただけたらと思います。よろしく申し上げます。

財務部からは以上です。

○教育総務課長（金島正樹君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 金島課長。

○教育総務課長（金島正樹君） それでは、教育委員会資料の1ページをお願いいたします。

小中学校トイレ洋式化工事について説明をさせていただきます。

小中学校トイレ洋式化工事については、昨年に国の交付金の予算内示に伴い、9月議会で予算が承認された後、工事にかかわる設計業務を発注し、入札を行い、11月上旬に請負者と契約締結となり、現在設計を進めているところです。工程表のとおり、設計業務の完了予定が2月末となり、その後、工事の入札実施に伴い適切な工期設定等を付する必要があることから、年度内に工事が完了することが困難となります。よって、工事に伴う予算について繰り越しを行う予定としております。また、工事实施の際には、小中学校の授業等に影響がないよう配慮し

つつ進めてまいる予定です。

教育委員会からは以上です。

○消防本部消防総務課長（檜原秀幸君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 檜原課長。

○消防本部消防総務課長（檜原秀幸君） 消防本部警防課より事業の進捗状況を報告させていただきます。

消防ポンプ自動車更新事業についてでございます。

1枚物の資料の裏面をごらんください。

先月の12月19日、20日に東京都八王子市の日本機械工業で中間検査を実施いたしました。写真のとおり、現在は白と灰色ベースの車体色から赤い塗色へ塗り直しているところです。2月初旬の完成検査の後、2月10日には工場出荷、その後は岡山の東洋ポンプにて資機材の積み込みと、警察での緊急車両登録と、岡山陸運局で車両登録を済ませ、2月末には納車の予定となっております。納車後は、検査、研修と新車両での取扱訓練を実施した後、本署へ配備し、3月下旬運用開始の予定としております。

以上でございます。

○委員長（北川勝義君） 執行部からの説明が終わりました。

ただいまの説明について委員さんから質疑がありましたらお願いしたいと思います。

質疑ありませんか。

○委員（永徳省二君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 永徳委員。

○委員（永徳省二君） 総合政策部資料の1ページ、あかいわ広報大使の皆さんへですね、何かしてもらったときの報酬、ギャラ、どういうふうになっているのか御説明をお願いします。

○秘書広報課長（小引千賀君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 課長。

○秘書広報課長（小引千賀君） 広報大使の皆さんへの報酬につきましては、それぞれの皆さんにつきまして、年に1回以上どこかのイベントに参加をしてくださいということをお願いしております。参加をしていただくときだけ出演料が発生するというので、年間を通して幾らというような契約はしておりません。SNSでの情報発信ですとか名刺を配っての市のPRにつきましては、無償でしていただいております。

○委員長（北川勝義君） 永徳委員。

○委員（永徳省二君） その個別でされたときの報酬の基準、そういうところ、税金で出すので、もしよかったら御説明ください。

○秘書広報課長（小引千賀君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 課長。

○秘書広報課長（小引千賀君） それぞれの所属事務所との交渉になるんですが、佐々部監督の御縁で、映画の「種まく旅人 ～夢のつぎ木～」に出演していただいた俳優さんと歌手の方が主でいらっしゃいますので、基本的に非常に一般的なものよりも低く抑えてくださっています。金額をそのまま申し上げますと、佐々部監督と津田寛治様、それから升毅様につきましてはそれぞれ30万円、海老瀬はなさんは20万円、にこいちさんは10万円ということになっております。

○委員（永徳省二君） ありがとうございます。

○委員長（北川勝義君） 他にありませんか。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 財務部のこの資料は、全協で皆さんがおるところで細かく説明してくれるという意味だったんですかね、さっきの。

○管財課長（戸川邦彦君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 戸川課長。

○管財課長（戸川邦彦君） 委員のおっしゃるとおりで、30日の議会全員協議会の場で、9月に説明させていただいた内容を説明させていただく予定にしております。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） ほんなら、そのときに聞きゃあええんじゃな、聞きたいことがあったら。

○管財課長（戸川邦彦君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 戸川課長。

○管財課長（戸川邦彦君） はい、お願いします。

○委員（下山哲司君） わかりました。

○委員長（北川勝義君） そりゃあ違おう。所管の委員会ですとんじゃから所管で聞いてもらわなんだから。そねえなこと、所管が全部聞かにはおえんようになったらおかしいことになるう。たしか藤原部長、話をしたのは、副委員長も聞いとらあな。総務ではこうやってもらおうと総務委員会でも絶えず申しておるようにはやっていたいて、それから必要に応じたら各委員会に出してもらわにはおえんし全議員に出していただくということで、今回は議長とも相談して、議長のほうへよく相談に行ってくれということで、議長と打ち合わせしてくれということで、総務は総務でやらせていただく。それができ上がったら、総務からあと各委員会へ出すのもええですけど、議長に相談してくれた、ほんなら議長が全協でやってくれというて、説明ということでしょう。そういうことでしょう。じゃあから、委員会の所管で委員会をすとんじゃから、総務委員会で把握していただいて質問して意見を言うて、それから議長とも相談した

中で全体で各委員に出しますと言うとるんで、それをやっていただきゃあええと思うんで、質問があったら下山委員、ここでやってもらうのが当たり前じゃと思うとる。そねえなことは下山委員は大ベテランじゃけえわかり切っと思う。そんなことを言ようたら、よそのところをしたのが全部出てきて、それを全部審査しようたら何のために委員会に付託されとんかわからんので、そこのところは良識を持ってやっていただかにはあおえんで。課長のほうも、市長は後ろを向かれようたけど、ほんまの話がそねえなのは当たり前の話、どうしても特別なことで我々が言わにゃあおえん、下山委員が例えば忘れとったことがあって、言わにゃあおえんことがあったら、きょうじゃなくてもその次思い出したら言われてもそれはいたし方ねえかもしれんのじゃけど、ぜひ原則的にはそういうことをやらせていただきてえと思うんで、市長のほうから。

友實市長。

○市長（友實武則君） まことに相済みません。先ほどの担当の発言は取り消させていただきます。この件ですけども、9月に総務文教常任委員会のほうへ報告もさせていただいたところでございますけども、何分にも時間が経過しております。ということで、改めて総務文教常任委員会の皆さんに資料をお出しするとともに御意見をお聞きするというを目的に、きょうの委員会に提出させていただいております。この質疑応答については、総務文教常任委員長の仕切のほうでやっていただいたらいいんじゃないかと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

○委員長（北川勝義君） ありがとうございます。

それじゃあ、先ほど私も申しましたが、市長のほうも申されたように、委員会の質疑をやられるという当たり前の話なんで、下山委員、忘れとつてもええんじゃ、またあったら、今でもここであったら、ほかの方でもよろしいんで、言うていただければ。それで、もし再度質問するとかわからんことがあったら、それは聞かれりゃええと思うんです、全協で議長に許可をもらうてやりゃあええと思うんで。今回は意見を聞かせていただきたいというんで、大分日にちもたつとるということなんで、もし何かあったら。

私のほうから再度確認したら、全体的な変更があったんですか、何か。それだけちょっと先に。

戸川課長。

○管財課長（戸川邦彦君） 9月の委員会で御説明させていただいたとおりで、大きな変更はございません。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 前には写真ついとりゃせなんだろう、こんな小さい写真ようけ。

○副委員長（佐藤 武君） ついとった。

○委員（下山哲司君） ついとったかな。ほんなら僕が忘れとんじゃな。

○委員（大口浩志君） ここまでのはついとらん。

○委員（下山哲司君） こんなに細かくついてなかったなあ。これ一緒かなあ。違うように見えた。この絵の小さいのがついとるのがどういう構想でついとんかというて聞きょうりゃあ長いことになるんで、それで皆さんが聞かれたらその横でまた聞いてもいいしと思うてそういう聞き方をしたんですが。1項目ずつもう一遍聞きょうると大変な時間になるんで、帰ってよう見ますわ。

○委員長（北川勝義君） これは課長、設計はどこがしょんかな。

戸川課長。

○管財課長（戸川邦彦君） この素案につきましては、ADO設計さんにしていただいております。

○委員長（北川勝義君） そりゃどこへあるんか。

○管財課長（戸川邦彦君） 岡山にあります。

○委員長（北川勝義君） これが概略設計をしようということじゃな。詳細設計じゃねえんか。

課長。

○管財課長（戸川邦彦君） 詳細設計に至るまでのその詳細な計画をしているというところでございます。

○委員長（北川勝義君） 設計はまだじゃろう。

○管財課長（戸川邦彦君） 詳細設計はまだです。

○委員長（北川勝義君） じゃから、概略設計じゃねえけど、こういう状態になるということのレイアウトがこういうことで、場所がこうでこういう考えでやらせていただくんじゃと、これから今度は詳細設計はまた別で、ここが一緒にしようという別の話で、そういうことじゃな。

○管財課長（戸川邦彦君） はい、計画案を今しているところです。

○委員長（北川勝義君） これが固まるとということかな。どういうことか。これからまだ変わっていくということかな。どんなんですか。

○管財課長（戸川邦彦君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 課長。

○管財課長（戸川邦彦君） まだ、素案の段階でございます。御意見をいただきながら、その御意見を参考にこれから詰めていきたいと思っております。

○委員長（北川勝義君） いやいや、じゃあから、いつごろこの素案が今度はできて、詳細設計、実施設計に要するに上がっていくんならということで、もう新聞見ようたら、新春の市長、きょうも出とったけど、きのうは備前市が出て、2月には新庁舎が建つというていろいろ書かれとるが。うちはいつごろになるんかなあと、概略だけでも。実施設計がどうのこうのじ

やねえ、完了じゃああのうて、完了は聞いとる。スケジュールがちょっとわかりゃあ、概略設計がいつごろできて、実施設計をいつごろして、それから建築の入札で完了がいつできるという、ちょっと簡単に言える範囲であつたら言うていただきてえんですけど。

○管財課長（戸川邦彦君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 戸川課長。

○管財課長（戸川邦彦君） 今、大きな概略としては、令和6年度末までの完成を予定して事業を計画しております。推定でございますが、実施設計から建設工事等を含めると4年以上を想定しておりますので、できるだけ早期に計画を固めた上で事業を進めていきたいと思っております。

○委員長（北川勝義君） ちょっと部長、悪いんじゃけど、概略設計がいつ終わるといのはちょっとわからん、ええんじゃけど、例えばというたら令和2年度のいつぐらいに実施設計するんじゃとか、それから実施設計が済んだら建築は1年かかるんじゃとか、いつごろするんじゃという予定だけ、そのパターンを教えてくださいあええんじゃけど。4年間かかるじゃというてようわからんけん。これ言うたら、市長、いけんのんかな、まだ。できてねえんですか。

市長。

○市長（友實武則君） 訂正します。今お出ししている資料ですけども、これはこの庁舎をどういうふうなイメージで改修していくのか、その方向性あるいはイメージを固めるために作業しております。そのイメージについては、きょうお出した資料のようにイメージをつくり込んできました。そして、今後のスケジュールですけども、このイメージを踏襲した形の実施設計をするというほうに移行していきます。その中で、イメージを損なうようなことになれば話が大きいですけども、このイメージを踏襲する中で吸収できる御意見を皆さんから聴取しまして、これを整理した段階で詳細設計に移行していきます。詳細設計をできるだけ早く取りまとめて、これをもとに工事発注に移行していくこととなります。しかしながら、この庁舎を使いながら改修工事を実施するということとなりますので、全部を一遍に発注して一遍に着工ということにはなりません。したがって、段階的な施工をというつもりでおります。したがって、通常新築したりすることに比べると余分に期間が必要となります。そういうことなので、合併特例債の期限もあることですけど、これをコンパクトになるべく早く完了させていきたいということで、年度ごとにこれをやってこれをやってと順序立てていくと、先ほど担当が言ったようなスケジュールになりますけども、できるだけ前に前に詰めていって、補正予算等も組ませていただきながら前倒し前倒しで工事のほうを実施していくように考えていきたい、そういうふうに思っております。したがって、スケジュールについては、先ほど担当が言ったのは1つの目安ではありますけども、我々としてはできる限り前に倒して実施をしていきたい、そのように思っております。繰り返しになりますが、このイメージについて御意見をいただいて、こ

れをもとに詳細設計の材料にしていこうということでございますので、その点をお含みいただ
いての議論をお願いいたします。

以上です。

○委員長（北川勝義君） ありがとうございます。

何が言いたかったというたら、僕も新しいところへぼんと建てるんじゃないかとやりようです
ぐわかるんじゃないけど、ここを今使ってやるからと思うて、今市長が言われたことの4年間もも
ちろんのことじゃけど、どねえにできるのかなあと思うて。せえで、合併特例債のこともある
から完了しとかなんだら後々のことがあるんで、今そう思うたんで。わかりました。

下山委員。

○委員（下山哲司君） その意見を聞くというのはどなたに聞くんですか。専門家に聞くの
か、専門家でなかったら意見聞いても出されまあしと思うんですけど、どういう考え方で
すか。

○市長（友實武則君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 市長。

○市長（友實武則君） 意見を聞くというのは、この建物を使っていくのはほかならぬ市民の
皆さんです。ですから、市民の皆さんが使い心地のいい施設を目指していかないといけないと
いうことから、今後、市議会議員の皆さんの御意見もお伺いしたいと思いますし、地域を代表
する区長会、そういったところにも意見をお尋ねするようなことを考えているところでござい
ます。よろしいでしょうか。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 余り大きくするのを広げようと取りとめのないことになってしまう
んじゃないかと僕は思うんですよ。じゃから、これをやる委員会なら市民の方を入れて、ある
程度知識のあるような方で委員会をつくってやったほうがきちっと取りとめのないことになら
ないんじゃないかというふうに思うんで、それでちょっとお聞きしたんです。

○委員長（北川勝義君） 答えはええか。

○委員（下山哲司君） 答弁か。

○委員長（北川勝義君） 要るか。

○委員（下山哲司君） はい。

○委員長（北川勝義君） 友實市長。

○市長（友實武則君） 専門家の御意見というのは、さまざまな専門の方、建築士だけじゃな
くてオフィスなどのコーディネートを専門にされている方、こういった方の意見を、実は既に
この戦略の中で聞いてイメージをつくってきているところがございます。そういったことで、
私としても今回の改修案のできについては、非常に赤磐市の目指しているものに近づいている

と思っております。そういったことも含めながら、専門家への相談というのは、このイメージをつくっていく中で、合理的な意見をいただいたものがここに詰まっていると考えていただければ結構かと思えます。今後、特に市民ホール等で市民の方がそこへ滞在する時間も長いので、そういったところの使い勝手、あるいはもうちょっとイメージをこうしてほしいとか、こういったものの意見がございましたらいただきたい。それから、市議会議員の皆さんには、どうしても3階部分を主体的にお使いになるところでございます。そういったところの主体的にお使いになる方の意見というのは非常に重要と考えての御協議でございます。よろしいでしょうか。

○委員（下山哲司君） よろしい。

○委員長（北川勝義君） 他にありませんか。

大口委員。

○委員（大口浩志君） 今一番新しくなるところが、多分、二、三年のうちは高梁だと思うんですけど、高梁に一昨年お邪魔をしたときに、もう既にあれっというような使い方、スペース効率、これどういうことというところが散見されました。この中に、例えば今意見を聞く中に職員から意見を聞くという説明が一切ないんですけど、一番使われるのは職員さんだと思うし、今でしたら特にお昼御飯をとるスペースのようなのがこの中には休憩室も含めてないので、市民の側からも果たして昼休みに来られたときに頼みにくいし、当番で30分を1時間ずつでもかわるとかいろいろなことがあると思うんで、そんなことが一切多分これへ入らないような気もするし、熊山の総合福祉施設、地域スペースというのをつくってありますけど、稼働率的にいかがなのかなあと個人的には思っております。これを見れば、多目的スペースが2階にある。逆に、ユニバーサルデザインだというたてりもうたわれている。総合窓口が右のほう、移動距離がすごく長いんじゃないかと、配置のことはあるとは思いますが。実際にやられたところとか、特に職員さんの希望、生産性の向上であるとか行政改革というのは、結局は職員さん一人一人でしょうから、そこらの視点が本当にこれへ入っているんですかね、基本的な考え方とか基本設計の中に。我々というよりは市民が訪れることも多いとは思いますが、現実的には職員さんに比べたら知れたもんだと思うんです。その辺の年代を問わず、20代、30代、40代、50代、いろいろおられますけど、職員さんからの意見というのはどこまで反映されとんでしょうか。

○財務部長兼会計管理者（藤原義昭君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 藤原部長。

○財務部長兼会計管理者（藤原義昭君） 今回のこちらのほうは、まずはたたき台として議員の皆さんに報告させていただきまして、その後順次これから職員のほうにもそういったのをお知らせしまして、その後、区長会等にも報告させていただきます。

以上です。

○市長（友實武則君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 友實市長。

○市長（友實武則君） 職員の意見はこのイメージをつくっていく中でしっかり聞いております。先ほど部長がこれから聞くみたいなことを言いましたが、そうではありません。先ほど大口委員がおっしゃったような意見、職員のほうからも出ております。それを解消するために、このイメージをつくってきております。例えば、当番制で窓口業務がお昼の12時から1時の間に当番で窓口座っている職員が食事をする場所がありません。席でお弁当を食べていたら、仕事中に何で食べとんだという指摘を受けるというような意見も職員から聞いております。そういったことを解消するために、職員食堂をつくっていくというようなことはなかなか厳しいです。そういったもので、2階のこのスペースを多目的交流施設としてテーブルを置いて、こういったところで見えないようにつたてを置きながらそこで食事をしていただく。あるいは、地元の方が相談に来て座って話をしたいというときには、下のホールの中の片隅にそういうテーブルを配置するというのを配慮してこのイメージをつくってしております。さらには、今、りんくステーションにお子さん連れの市民の方が来られたときに、そのお子さんを相談している間お守りをしないとイケない、それを職員がだっこしてあやしながらほかの職員が相談を受けるということをしています。そうしたら、それを見た一般の市民の方が、職員が子供と遊びようと言われてしまうんです。実は遊んでいるわけじゃないんです。そういった誤解も生じていることが職員の声として届いております。これらを解消するためには、キッズコーナーを設けてそこでお子さんを、見守りは職員がしたりしますが、そういう場所が必要だということでこのイメージをつくり上げてきております。今後、さらに職員の声を聞いていくことも視野に入れながら、おおむねのイメージはこのイメージパース図のように市役所庁舎をつくりかえていく。これは市民のためだけでなく、ここで働く職員の意見も聞きながら働きやすい職場を目指しているということでございますので、御承知をいただきたいと思っております。

以上です。

○委員長（北川勝義君） 他にありませんか。

○副委員長（佐藤 武君） はい。

○委員長（北川勝義君） 佐藤委員。

○副委員長（佐藤 武君） まず、ほかの委員からも確認があったんですけども、いわゆる合併特例債を使うということで、6年度末完成というのはもう確実に完成しておかないとイケないということですよ。それで、今、委員長のほうからもありました、タイムスケジュールが具体的にまだ素案とかの段階であるというような説明もあったんですけども、これもあと4年しかないわけですよ。それで、耐震改修という方向でいくということで決定がされておりますけれども、耐震改修であってもかなり長期の工期が必要になるというふうに思っているわけですけども、そうした中で焼却場じゃないですけど、建物が議会棟も含めて旧消防庁

舎、それから公民館の改修とかもある。そうした中で、建物が非常に古いという状況の中で、アスベストとかの新たな状況も見つかるのではないかなというふうに理解するんですよ。焼却場なんかについては、追加工事が議案として出るというような中、この旧消防庁舎、公民館についても、建物は古いわけですから当然それが予想されます。そうした中で、いまだにそのタイムスケジュールも決まってないという状況の中で、果たして本当に令和6年度までに完工ができるのかなあという非常にその心配をするわけです。ですから、全協で改めて説明をされるということですが、せめて全協までには無理かもしれませんが、何年までには何をやるというような計画を立てないと絶対私は無理だと思うんですが、そのあたりの御見解はいかがですかね。

○財務部長兼会計管理者（藤原義昭君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 藤原部長。

○財務部長兼会計管理者（藤原義昭君） 市長も申されたように、早目早目に計画をさせていただきますので、また今後、計画を発表させていただきたいと思います。

以上でございます。

○委員長（北川勝義君） 前田副市長。

○副市長（前田正之君） 先ほどから御指摘いただいているとおりだと思います。当然、私たちのほうもタイムスケジュール的なものは頭の中に入れております。そして、いろいろそれが順調にいかないというような先ほどからの御指摘のこともあります。そういったものを含めまして、現段階で、まずきょう御説明をさせていただいているようなこういった状況の基本となることをいろんな議会の議員の皆様、そして区長、町内会長さん、そういったところを含めまして御意見を聞きながら固めて、そして詳細なところへ移っていきたいと思います。当然、どういったスケジュールでやっていきたいというのは計画を頭の中には持っていますので、そういったことはお話をしながら、また全協のほうでいろいろと御意見を聞いていきたいというふうに思っています。よろしくお願ひします。

○委員長（北川勝義君） 永徳委員。

○委員（永徳省二君） この資料、去年の9月に出した資料と全く一緒だということであれば、ある意味9月から4カ月たって何も進歩してないという意味合いにもとれるじゃないですか。本当に今おっしゃられたように、皆さんもおっしゃられたようにスピードが遅過ぎるかなという気がするんですけども、どうなんでしょうか。

○委員長（北川勝義君） 前田副市長。

○副市長（前田正之君） 御指摘のとおりです。そういったことで、まずは18人の議員の皆様方にそういったところをしっかりと説明し、市民の代表である皆様方にも御意見を聞き、固めていきたいというふうに思っていますので、またそういったことが30日に説明ができるようにしっかりと準備をさせていただきます。また、この総務のほうで御審査を経過としていただい

ておりますので、しっかり御意見もいただきながらやっていきたいと思っておりますので、委員の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

○委員長（北川勝義君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 今までの経験の中で1つあるんじゃないけど、これを考案された人が来て説明をしてくれるというようなのはないんか、職員さんじゃなしに。今までの経験の中ではそういうのがあるんですけど、専門のこれへ携わった方が。

○市長（友實武則君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 友實市長。

○市長（友實武則君） 専門の方の説明もよろしいですけども、できないことはありません。でも、このイメージをつくり上げてきたのは、専門の方から専門の意見として絵にしていたんですけども、このイメージを考案して姿にするまでの中に、市のほうから主導でこのイメージをつくっておりますので、例えば構造上の話をするとかそういったところの説明は難しい部分がございますけども、こういう市役所にしていくんだということは私たちが十分説明できると考えております。

○委員長（北川勝義君） よろしいか。

○委員（下山哲司君） よろしい。

○委員長（北川勝義君） 他にありませんか。

○副委員長（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 佐藤委員。

○副委員長（佐藤 武君） ちょっと離れますけれども、消防出初式が今度予定されています。そうした中、先ほど市長のほうからも成人式のお話がありました。昨年の消防出初式でも、私一般質問させていただいたんですけども、このたびの成人式で非常にまた残念なマイクの不具合という事案が発生しました。消防のときには、周波数の関係でちょっとうまくいかなかったんだというようなことで説明があって、次からはリハーサルも十分やってるのかなと思ったんですが、今回、新成人の男女の方が将来の目標に向かって看護師になりたいというような話もされました。それが、皆さんお話を聞こうという本当に真面目な方、成人の方も父兄の方もそうなんだけど、もう本当に小さい声で聞こえないことはなかったんですけども、将来に向かって若い人が目標の話をする中で、本当にあれは残念な状況だなあというふうにもう改めて思ったんです。今回、消防出初式で表彰もされるのかなと思うんですけども、そのときに被表彰者の名前が聞こえない状況が昨年の状況でしたけれども、今度はそういうことは絶対ないようにリハーサルを十分していただきたいということを、この場で御案内があったんで申し上げますけれども、ふれあい公園の改修についてはまた改めて意見申し上げたいと思いますけれども、そのあたりの消防出初式の取り組みについて、間違いないように決意をお答えください。

○消防本部消防長（井元官史君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 消防長。

○消防本部消防長（井元官史君） 去年の反省を含めまして、きょう本日の午後から準備、リハーサル、重ねてさせていただいて、土曜日の午前中も最終的なマイクチェックをさせていただいて、さらには本番当日の9時から最終的な機材のチェックをした後に、本番に臨んでいく次第でございます。去年の失敗のワイヤレスの周波数の違うところは職員のほうにも周知をしておりますので、そこも改めて本日私のほうも最終的にチェックさせていただこうと思いますので、本番当日、去年の失敗がないように万全を尽くしていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○委員長（北川勝義君） よろしいか。

○副委員長（佐藤 武君） はい。

○委員長（北川勝義君） 佐藤委員。

○副委員長（佐藤 武君） 済みません、非常にプレッシャーかけるかなあと思うんですが、よろしくお願いします。

○委員長（北川勝義君） 他にありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（北川勝義君） 他にないようなので、協議事項で事業の進捗状況について何かありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（北川勝義君） ないようなので、これで終わりたいと思います。

続きまして、2番目のその他に入りたいと思います。

その他で、委員さんもしくは執行部から何かありましたら発言を願いたいと思います。

先に、執行部のほうから報告願いたいと思うので、お願いします。

○くらし安全課長（岡本和典君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 岡本課長。

○くらし安全課長（岡本和典君） 総務部くらし安全課からその他について御報告をさせていただきます。

お手元の総務部資料の裏側、1ページをごらんください。

令和元年12月末での交通事故等の発生状況についてでございます。

事故の表の下段をごらんください。

暦年の令和元年1年間のトータルの数字でございます。前年に比べまして事故の総件数は減ったものの、御承知のとおり死亡者数につきましては前年を上回ったという残念な結果になっております。赤磐市、岡山県ともに、死亡事故、死者数については増加ということでありませぬ。全国的にも、歩行中の死亡事故という事例が多く発生しておりますので、今後、赤磐市と

しましてもこの点について特に重点的に啓発を行っていきたいと考えております。とりわけ、市内で発生いたしました夜間の横断中の歩行者の死亡事故対策としまして、反射材の着用の啓発等を重点的に行ってまいりたいと考えております。

続きまして、(2)レディオモモ赤磐中継局の開局記念特別番組についてでございます。令和2年3月1日にレディオモモの赤磐中継局、赤磐市内での放送開始ということで従前お知らせをしておりますが、この日の記念番組ということで11時から14時までの3時間、赤磐市中央公民館の大集会室を会場としまして3時間の生放送を行う予定としております。番組の主な内容としましては、ステージイベントであかいわ広報大使のこいち、海老瀬はなさん等に今出演の調整を行っているところでございます。番組の公開生放送とあわせまして、公民館や図書館周辺で観光協会の出展等、こちらをあわせて調整を今行っておるところでございます。熊山にあります大盛山の中継局につきましては、施設が完成いたしまして、総務省から無線局の許可がおりております。現在、79.0メガヘルツにおきまして試験電波を発信中でございます。

以上、くらし安全課からです。

○委員長（北川勝義君） 土井課長。

○社会教育課長兼スポーツ振興課長（土井道夫君） それでは、教育委員会のほうから説明させていただきますので、教育委員会の資料の2ページをごらんください。

まず、社会教育課のほうから、斎富南方地区圃場整備事業に伴う発掘調査についての御報告でございます。

令和元年度から赤磐市斎富、南方地区において県営の圃場整備工事が開始されました。工事予定範囲には、斎富遺跡などの遺跡が多数所在しており、平成28年度に事前の試掘確認調査を市教育委員会が実施したところでございます。その結果を受けまして、保存不可能な遺跡について発掘調査を実施している次第でございます。令和元年度の発掘調査は、岡山県備前県民局より受託しまして、斎富遺跡の約2,700平米を令和元年10月から着手し、令和2年3月までの予定で行っているところでございます。調査状況といたしましては、山陽道の側道に沿って建物の柱穴や遺跡の範囲を示す溝などが見つかりました。また、縄文時代晩期の土器が出土する川の跡もありました。縄文、弥生、古墳、古代の遺物が出土しております。調査成果につきましては、令和2年1月30日木曜日1時半から現地にて一般市民向けに説明会を開催する予定といたしております。なお、この発掘調査は令和2年、3年度も継続して実施する計画としております。

続きまして、スポーツ振興課から、東京2020オリンピック聖火リレーについての報告をさせていただきますので、お手元の資料の4ページをお開きください。

この聖火リレーの発表におきましては、昨年の12月に発表されました東京オリンピック聖火リレーにつきましては、3月26日に福島県を出発し、121日間にわたって全国858の市区町村を回り、聖火ランナーにつきましては総数約1万人で行う予定でございます。岡山県におきまし

ては、5月20日から21日の2日間、岡山県に聖火が来まして、ランナーが県内を回るようにいたしております。赤磐市におきましては5月21日、玉野、真庭、赤磐、美作、奈義、津山の順で聖火リレーが行われます。今回、12月17日に走行ルートが発表されたということで、赤磐市におきましては熊山支所を出発といたしまして、熊山運動公園多目的広場をゴールといたしまして、約2.3キロの聖火リレーのルートとして発表されました。それに伴いまして、12月23日に聖火ランナーが一部発表されておるということでございます。これにつきましては、県内全域の盛り上げをしていくため、県下での全ての市町村から必ず1人はランナーを選出する仕組みで選出されまして、今回ランナー53名で、ランナーの詳細につきましては最年少が11歳、最高齢が79歳というところでございます。ランナーの一覧につきましては、5ページ、6ページのほうに5月20日、21日に走られる方の名前を書いております。なお、走られる区間につきましては、今後の予定ということで、2月下旬から3月上旬に各ランナーの走行市町が発表されまして、実際に赤磐市ではどの区間を走るかというのは、二、三週間前に発表ということでございます。随時発表され次第、また御報告させていただくということでございます。

以上、教育委員会から2点を報告させていただきました。

○消防本部消防総務課長（榎原秀幸君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 榎原課長。

○消防本部消防総務課長（榎原秀幸君） 資料にはございませんが、令和2年赤磐市消防出初式の案内をさせていただきます。

式典は1月19日日曜日、9時30分から御来賓の方々の受け付けをさせていただき、10時からの開式を予定しております。寒い時期にまことに恐縮ではございますが、御臨席を賜りますようよろしくお願いいたします。また、駐車場につきましては、体育館前の駐車枠を確保いたしておりますので、御利用いただければと思います。

以上、簡単ではございますが案内とさせていただきます。

○委員長（北川勝義君） 執行部のほうからその他のほうで説明がありました。

何か質問がありますか。

○副委員長（佐藤 武君） いいですか。

○委員長（北川勝義君） 佐藤委員。

○副委員長（佐藤 武君） 聖火リレーの件でお尋ねします。

聖火ランナーの選考については、選考基準というのはどういう基準があるんでしょうか。それと、赤磐市の走行ルートは必ずしも赤磐市の住民ではないということのようですが、そこらあたりもどういうふうになるのか、あわせてお願いします。

○社会教育課長兼スポーツ振興課長（土井道夫君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 土井課長。

○社会教育課長兼スポーツ振興課長（土井道夫君） まず、選考基準でございますけれど、東

京オリンピックの聖火リレーの実施要綱が発表されまして、それに伴いまして赤磐市でも公募をいたしました。赤磐市につきましては45件の応募がありました。聖火リレーのルートにつきましては1名プラスになるということで、赤磐市は2名選考させていただいた次第でございます。こちらの21日の名簿のほうには赤磐市の方が3名ありますけれど、これにつきましては申請の場所なので、ほかの方も見ていただければ東京の方とかありますので、どこの市町から赤磐市の在住の方がされたかというのはちょっと今のところはわかりませんが、うちのほうといたしましては2名を選考いたしまして決めた次第でございます。最終のルートにつきましては、2.3キロの間で大体12から14区間で、最終の発表が二、三週間前にあるということで、残りの方につきましては企業のスポンサーとかということでオリンピック組織委員会のほうが決めるということでございます。

○委員長（北川勝義君） よろしいか。

○副委員長（佐藤 武君） いいです。

○委員長（北川勝義君） 他にありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（北川勝義君） なければ、執行部のほうは終わりたいと思います。

委員の皆さん、その他でありましたら。

○委員（下山哲司君） はい。

○委員長（北川勝義君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 先ほど、子育てするならあかいわ市と、こういうのが見えたんですが、1つお聞きしたいんですが、いわなし幼稚園の担当は誰ですか。いわなし幼稚園の大部屋のエアコンが故障しとるという話を聞いてんですが、この子育てするならあかいわ市とこう言うんで、どういう状況なのかちょっと説明をお願いしたいと。

○教育総務課長（金島正樹君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 金島課長。

○教育総務課長（金島正樹君） いわなし幼稚園の遊戯室のエアコンが壊れている件かと思います。そちらのほう、園長先生より報告を受けておりまして、緊急に修繕の対応のほうを今いたしているところです。

以上です。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 築何年になるんですか。

○教育総務課長（金島正樹君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 金島課長。

○教育総務課長（金島正樹君） 築何年たっているかは、現状手持ちに資料がないので、ちょ

っと把握しておりません。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 私がお聞きしたのは、もう22年ぐらいになるんじゃないというお話をお聞きしとんですが、22年前に据えつけたエアコンを今修繕するやこう、もう時代のあれで全く話にならん、今の答弁だったら思うんで、その辺を再度ちょっと説明してください。

○教育総務課長（金島正樹君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 課長。

○教育総務課長（金島正樹君） とりあえず、状況的に応急的な修繕ということを経験しております。今後の対応としましては、それをもう取りかえるようなことを検討してまいります。

以上です。

○委員長（北川勝義君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 修繕というて、22年前の物が修繕ききますか。めげたところの状況にもよるけど、捨て金になるんじゃないのかな。さっとかえたほうが早いんじゃないか。

○教育総務課長（金島正樹君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 課長。

○教育総務課長（金島正樹君） いわなし幼稚園の遊戯室のエアコン自体がちょっと特殊な物、普通にこの辺についているような空調の設備ではないので、その辺のことを対応していくということをやちょっと考えて、今後の対応ということでさせていただきます。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 議員が技術的なことを言うちゃいけないのじゃけど、私もそういう仕事をずっと長年何十年もやってきとったから思うんじゃないけど、そういう特殊な物ほど手をかけりゃあ余分に修理代が高いんで、もうそういうことをするよりは、今はもうこういうエアコンはぐっと値段が下がるとんじゃから、損得の勘定をして、これから使う年数も考えたりして、とりあえず直してようけ金使う必要ないんで、特殊な物ほど修理代は高いんじゃないから、汎用品じゃないんじゃないから、そういう観点を持たなんだら本当に捨て金になるというふうに思うんで、22年もたって故障するということは、ほかにも劣化しとるからするわけじゃから、そんなものに修繕で大金かける必要ないと思うんで、その辺をよう検討してください。それに、子供のことでありますから、もうすぐしてあげにゃあいいんで、修理するのが早いのか、新しくかえるのが早いのか、検討してみてもたまたお話聞かせていただきゃあいいんですけど、私はそういうふうに思うんですが、市長、どう思われますか。

○教育総務課長（金島正樹君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 課長。

○教育総務課長（金島正樹君） 今、下山委員の意見等を今後踏まえて検討なりをしまして、委員が言われるように取りかえていくようなことを、早急に対応なりを考えていくようにいたします。

以上です。

○委員長（北川勝義君） 他にありませんか。

○委員（実盛祥五君） ちょっと悪いんじゃないけど、今寒いときじゃから……。

○委員長（北川勝義君） 実盛委員。

○委員（実盛祥五君） もう早目にさらにかえてあげて。いけん、そんなぬるいことをしょうたら。

○教育次長（末本勝則君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 次長。

○教育次長（末本勝則君） 先ほどから御指摘いただいて、済みません、御心配かけております。今回の原因は基盤の不備ということでございました。おっしゃいますように、既に20年以上経過しております、基盤の調達がどうかなということを危惧しておりましたが、たまたま今回基盤があったということでございまして、修理が可能ということになりました。時間がちょっとたっておりますけれども、2月の頭には直るということで、先ほどから話題になっておりますが、こういったエアコンではなくて、穴があいていて空気を送ってくるような大きなものでございます。ホールでございますので、そのあたりのこと、改修費も多額となってまいりますので、このたびはその基盤の取りかえということでひとまずは直るといふふうに業者から聞いておりますので、そういう対応にさせていただきます。今後、また改修については計画的に進めてまいりたいと考えておりますので、御理解いただきたいと思います。

以上です。

○委員長（北川勝義君） 実盛委員、よろしいか。

○委員（実盛祥五君） そりゃあいけんで。今寒いときで、2月の中旬じゃあいうて。もうちょっとすりゃあもうぬくうなるんじゃないもん。寒いときにはほっといてぬくうなってから直ったんじゃない意味なさんもん。

○教育次長（末本勝則君） 2月上旬です、済みません。

○委員（実盛祥五君） そりゃあ、こんな小まいのでええんじゃないから、数つけりゃあええんじゃないから、温めるんじゃないから。昔のことは忘れえ。今の近代的なええやつにかえてあげえ、子供のために。そりゃあいけん、そんなぬるいことを考えようたら。今が一番寒いときじゃもん。2月の中旬じゃあというて、これからぬくうなるときじゃが。そりゃあおえんわ、もう頼むで。

○委員長（北川勝義君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 技術的なことを言うたら、22年前のエアコンと今のエアコンだったら電気代が恐らく3分の1になる、新しいの。能力的にいうたら、当時の約倍の能力が出ると思う、同じ大きさだったら。そうしたら、その半分の大きさでできるんじゃないし、どうせ手をかけるんならそのほうが早いし、工事は、物があるから、大体なら。そうすりゃあ、3日もすりゃあ製品は調達できるんじゃないから。そうしたら、工事を誰かに頼むという話じゃねえけど、もう早くしてもらえる人に頼んで、そうしたら1週間もかからんと思いますよ、僕が考えたら、計算をぱっとすれば。それに、当時のそういう基盤というたって5,000円や1万円じゃ直らんじゃから、みんながおつというぐらいの値段じゃから。基盤はその1つじゃない、それに同調するものを皆かえにゃいけないのじゃから。じゃから、そんなに基盤がというような話にならん。恐らく、そんだけの日にちというのはつくるんじゃないと思う。じゃから、つくるんじゃないら金もかかるしあれじゃから、それはもう絶対に考え方を変えたほうが良いと思います。御意見だけ言うときます。

○委員長（北川勝義君） 答弁はよろしいか。

○委員（下山哲司君） じゃから、やっぱり市長じゃろうな。

○委員（実盛祥五君） それは教育長、ちょっと答弁して。そりゃあいけん。

○委員長（北川勝義君） いけんことはねえ、執行権じゃがな。執行権のことをしゃべったらいけん。下山委員のは。答弁、誰か。

教育長。

○教育長（内田恵子君） まず、新たなものをということの御意見もいただいたんですけれども、あのホールが非常に大きい、屋根が高くてということもあり、直せるものなら直して使いたいなというように思っていて、このたび修理のほうをとらせていただきました。ただ、あそここの部屋は大変寒いということですが、各部屋にはストーブがあり、外を使つての活動をしております。とりあえずの活動の場所を外、あるいは部屋として使っておりますので、また本の部屋には小さなストーブを設置するような対応もしてまいりたいと考えておりますので、検討はさせていただきますけれども、御意見としてお聞きいたしますけれども、今回はこのような方向で行きたいと思っております。

以上です。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） そういうお話をすると、今度はやっぱり市長に聞かにゃあ。そういうものの賞味期限は15年なんです。22年というたら7年もオーバーしとるわけ。そんなものを修理するという観点が物事の考え方から外れとんですよ。もう15年で済むものに銭をかけること自体が間違い。そうしたら、先々何年使えるんなら。そういうものの考え方をせにゃあ。だから、市長が余り銭を絞るから、とりあえずはそのほうが安いというふうにしかならんので

すよね。だから、その辺について市長の見解を聞きたいと思います。

○市長（友實武則君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 友實市長。

○市長（友實武則君） 済みません、今のエアコンのお話は今ここで私は初めて聞くもので、コメントできません。また、詳細を聞いて判断をしていくようにいたします。

○委員長（北川勝義君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 今僕が説明したのが足らんのだったら、もう聞いてもしょうがないです、ものの基本的な考え方だから。こういう機械は15年たったら賞味期限が切れるんじやという物に、まだそれ以上7年もオーバーしとる物を修繕するというて、その根本的な考え方を市長がすぐぱっと理解できんということだったら、市長も工学博士か何か持っとられるんじやろうから、そういうことは理論的にはようわかっと思われと思う。だから、同じ金をかけるなら、どうせ先にかけるなら今かけた分だけ余分になるんじやから。そうでしょう。今度新しくすれば15年また使えるわけですから。それに今かける分は余分になるんじやから。そういう考え方からしたら、必ずどこかがめげます。もう年数来とんじやから。それにコンプレッサーの能力というのはもう15年過ぎたら格段に落ちとるわけじやから、同じように動きょんかもしれんけど、動いても能力は落ちとるわけじやけえ、電気代はようけ要るし。そういうことを考えたら、大きい物ほど電気代がようけ要るわけじやから、今の効率のいい物にかえるというのが経済的な考え方です。それが市長の言うお金をうまく使うあれじゃないかと僕は思うんですけど、どんなですか、市長。

○委員長（北川勝義君） 下山委員、今やりょんのはその他で出て下山委員がよう聞かれて、貴重な意見じやと思われんじやけど。何をするとかこれをするというのは我々がしていくんじやねえ、これは執行権があつて執行部のほうがされるんじやけん。それは下山委員、要望じやとか気持ちで言よんじやということは、ベテランでわかっとるけんアドバイスしてくれよんじやけんええんじやけど、我々の委員会の中ではやれということはできんと思われので、そのところを踏まえて、市長、答弁願います。

友實市長。

○市長（友實武則君） お話の趣旨はよくわかりました。その趣旨も踏まえながら、この詳細について報告をいただいておりますので、今後そういったことも聞いて判断をしていくということになるかと思われします。

以上です。

○委員長（北川勝義君） よろしいか、そういうことで。

下山委員。

○委員（下山哲司君） 僕が市長の立場だったら、こういう小さい物じやない、大きいから言よる。考え方として、その賞味期限が切れた物に金をかけるということ自体が間違いじやな

いかと言ようだけです。もうほかのことはいいです。

○委員長（北川勝義君） 修繕費というのは何ぼかかるんか、大体。基盤をかえるという言
ようた。

○教育総務課長（金島正樹君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 課長。

○教育総務課長（金島正樹君） 約30万円から40万円程度と聞いております。

○委員長（北川勝義君） わかりました。

他にありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（北川勝義君） なければ、これで終わりたいと思います。

第1回の総務文教常任委員会を閉会したいと思います。

閉会に当たりまして内田教育長より御挨拶をお願いしたいと思います。

○教育長（内田恵子君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 教育長。

○教育長（内田恵子君） 令和2年に入りました。今回第1回ということで、事業の進捗状況
につきまして熱心に御協議をいただきました。残すところ、令和元年度も3カ月となっており
ます。その3カ月、3月末までにしなければならぬことはこれからどんどん進めてまいりた
いと思います。そして、来年度に向けてまた継続するもの、それから新たに取り組むもの、先
を見据えながらやっていきますので、委員の皆様にもこれから貴重な御意見をいただきたい
と思います。よろしくお願ひいたします。

以上です。

○委員長（北川勝義君） ありがとうございました。

これで本日の委員会を閉会したいと思います。御苦労さまでした。

午前11時12分 閉会